

# 34

## ボウリング競技 実施要項

- 1 主催 大分県高等学校体育連盟
- 2 期 日 令和2年7月4日(土) 9:30～9:40 受付  
9:45～9:55 開会式  
10:00～10:40 個人戦  
10:50～11:30 団体戦  
11:40～11:50 表彰・閉会式
- 3 場 所 OBSボウル  
大分市明野東1丁目1-1 TEL 097-558-8510
- 4 競技規則 (公財) 全日本ボウリング協会競技規則並びに選手権大会規定により実施する。
- 5 競技種目 (1) 男子の部 個人戦及び団体戦  
(2) 女子の部 個人戦及び団体戦
- 6 競技方法 (1) 個人戦 3ゲーム  
・男女とも3ゲームを行い、トータルピンにて順位を決定する。  
(2) 団体戦(2人チーム戦) 3ゲーム  
・男女別学校対抗とする。  
・2人×3Gの6ゲームトータルピンにて順位を決定する。  
・各校複数チームの参加を認めるが、順位決定は各校上位1チームの得点とする。
- 7 参加資格 「第68回大分県高等学校総合体育大会実施要項」の参加資格に準ずる。
- 8 参加申込 (1) No.34様式で男女は別紙に作成する。各2部印刷・捺印して、所定の学校一括申込みにする。  
(2) 承認を得た申込書電子データは、下記にメールで送信する。  
(ファイル名：競技名/性別/校名/監督名)  
**\*大会参加に際しては、本人及び保護者の参加同意書を提出すること。**  
メールアドレス ogata-tadashi@oen.ed.jp <データ受信期限：6月25日(木) 17:00必着>  
日田高等学校定時制 緒方 正 あて
- 9 出場権の獲得 なし
- 10 ゲーム料金 個人戦、団体戦ともに、ゲーム料金を受付で納入する。  
(1) 個人戦 1人 1,110円  
(2) 団体戦(2人チーム戦) 1チーム 2,220円
- 11 連絡事項 ユニフォームは学校名、氏名の入ったもので、団体戦ではチーム同一のものを着用すること。
- 12 感染症等の対策 (1) 感染症等の対策については、別紙に掲げる留意事項を遵守すること。  
(2) 競技中の傷病など緊急時の対応については、救急体制に従って行動すること。

## 感染症等の対策に関する留意事項について

ボウリング競技専門部

## 1 全競技共通事項

- (1) 生徒の参加については、参加同意書を提出すること。
- (2) 気温が高い中での大会であること及び運動不足が考えられるため、突発的な傷病等に十分留意すること。熱中症予防のため、こまめな水分補給をすること。
- (3) 生徒に発熱など風邪の症状が見られる時は参加を見合わせ、自宅で休養させること。
- (4) 会場内に入る生徒（競技中以外）・競技役員・補助員・引率者・観客等は、必ずマスクを装着すること。ただし、熱中症予防の観点で、屋外で人と十分な距離（2m以上）を確保できる場合はマスクを外すこと。また、屋内でも息苦しさを感じた時は、換気や人と十分な距離を保つなどの配慮をした上でマスクを外すこと。
- (5) 会場の各所に液体石鹸や手指消毒用液を備えているので、こまめな手洗いや消毒をすること。
- (6) 同チーム内での飲料水等の回し飲みやタオルやコップ等の共用はしないこと。
- (7) 競技に使用する共用の用具（ボール等）については、専門部で消毒を行うが、チーム内の用具は各指導者が責任をもって消毒すること。
- (8) 競技会場内では、競技専門部（係員）の指示や誘導に従うこと。
- (9) 競技会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、競技専門部及び県高体連事務局に対して速やかに報告すること。

## 2 ボウリング競技における3密（密閉、密接、密集）の回避対策

## 【 大会本部 】

- ・ 来場する保護者は、予め氏名・住所・電話番号を顧問に提出する。
- ・ 会場内の人数を減らすために、観客は1家族1人以内とする。
- ・ 会場内で人との接触を減らすために、選手、役員、観客等を導線で区分する。
- ・ 主催者で消毒液を用意し、会場内に設置する。（別紙会場レイアウト）
- ・ 会場内のトイレに液体せっけんと消毒液を設置する。
- ・ 更衣室と控室は、使用を禁止する。
- ・ 握手やハイタッチなどの身体接触は禁止する。
- ・ 大きな声で会話、応援等を禁止する。
- ・ 応援については、場所を指定する。
- ・ 競技役員等の座席、観客席は、できるだけ2mの距離が保てるよう制限する。
- ・ 飲料水は、コップなどで共有せず、個人で準備する。
- ・ ゴミは、各学校・個人で持ち帰る。

## 【選手・役員・保護者等】

### 《密閉》

- ・ロッカールームのボールバッグ等を取り出す場合は、速やかに行うこと。
- ・競技会場では、場内の換気に協力すること。

### 《密接》

- ・近距離での会話や発声が必要な場合は飛沫を飛ばさないようマスクを装着すること。
- ・マスクを外さなければならない場合は、人との距離をできるだけ2m保つこと。
- ・競技中のマスクの着用は、競技者等の判断によるものとする。マスクを着用していて息苦しさを感じた時は、すぐにマスクを外して休憩を取ること。
- ・握手やハイタッチなどの身体接触をしないこと。
- ・大きな声で会話、応援等をしないこと。

### 《密集》

- ・競技役員等の座席、観客席は、できるだけ2mの距離を保つこと。
- ・会場内で人との接触を減らすために、選手、役員、観客等の導線を区分しているので注意すること。
- ・会場内の人数を減らすために、観客は1家族1人以内とすること。
- ・受付後、選手は速やかに指定された区域で待機すること。

